

その先へと続くものづくり

河村展之さん × 鈴木宣寛さん × 大手山亮さん

「仮囲いの中をどうしても覗いてみたい」

それぞれの選択

大手山 私は学生の頃からいろいろなことに興味がありました。大学は化学系の学科を卒業したのですが、どうしても建築というものづくりの勉強がしたくなり、学士入学で建築学科に入りました。ちよつと変わった経歴かもしれませんが。就職に当たっては、化学と建築それぞれの勉強をしてきたので、両方の知識を活かせる道に進みたいと考えていました。商社やプラント会社、食品会社も受けましたが、ゼネコンでも医薬品施設建設など、両方の知識を活かす道があると知って興味を持ち、就職を決めました。

河村 大学の法学部に通っていたのでメーカーや金融機関などの就職試験も受けましたが、街を歩いていると目につく建設現場の仮囲いの中をどうしても覗いてみたいと思っていました。この中で一体何が行われているか、どうやって建物がつくられているのか。こうしたことに興味を持ったのがきっかけとなり、ゼネコンに就職しました。

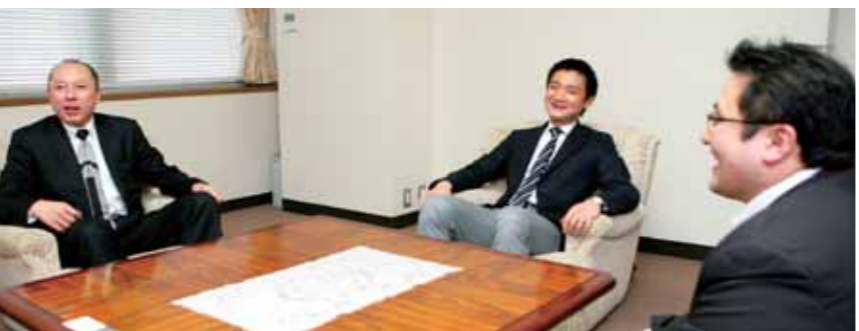
鈴木 もともと建築に関心があり、大学では都市計画を専攻しました。大学を卒業後、一度はハウスメーカーに就職しましたが、建築士の資格を取得したいと考え、会社を退職して大学院に進学しました。そこで勉強して

「建物と生産という行為を繋ぎ、建物に機能を付加するのがエンジニアリングの仕事」

広がりのある世界
鈴木 建築工事部（施工管理）から建築営業部に異動して、最初の1年は営業の進め方を覚えることに精いっぱいでしたが、2年目からは業務上必要なさまざまな情報を自力で入手できるようにになり、次第に面白くなってきました。現在は、新しい社会資本整備のあり方の一つとして注目されているPFI事業の営業を担当しています。PFI事業では、さまざまな業種の会社と一緒に事業を推進していくため、自分の世界が大きく広がっていくように感じています。また、建築に関する知識に留まらず、法規やファイナンスなどの幅広い知識も必要となりますが、学生時代に勉強した都市計画がここで役に立ち始めていることを実感しています。

社会的役割を自負

鈴木 ゼネコンの特徴といえば、何でもできることだと思います。上司からは「お前は鈴木工務店になれ」とよく言われまして。社長になつても、何でもできるようなれと激励され、何もないところから建物をつくるために必要な予算管理や工程管理、建物ができただけの維持管理など、あらゆる先の先まで考えて仕事は進めるものと教わりました。



大手山 確かに設計や施工はもちろんのこと、何でもやろうと思えばできる。河村 ゼネコンとは、社会を構成する上でなくてはならない存在でしょう。東日本大震災でもゼネコン各社は救援・応援物資の調達をはじめ復旧・復興に貢献しています。工事の請負だけでなく、再生可能

「お前は鈴木工務店になれ」

大手山 栄養ドリンクの製造ラインづくりに携わった際、苦勞して期日までに完成させたこともあり、その商品がCMで紹介されるのを見た時は感動しました。この仕事では、生産施設をつくることに加えて、栄養ドリンクのパッケージにどのような字体でどう印字するかといったことまでお客様と一緒に考えていく状況に喜びがわきます。現場では建物ができていく状況に喜びを感じるように、営業ではプロジェクトが育っていく状況に一番のやりがいを感じます。

るのを最初からお手伝いする場合もあれば、そうした協議会が発展して再開発の準備組合が発足し、事業協力者として参画させってもらう場合もあります。事業協力者は、事業推進を担いながら、事業資金の立て替え、組合事務局への人員の派遣、保留床を購入して頂く企業の募集などさまざまなことを行います。

思いが結実するとき

河村 再開発事業というのは長期間にわたるため、経済動向によって事業スキームそのものが見直しを迫られることもあります。2008年に起きたリーマンショックの影響で、手掛けていた事業が頓挫してしまうかもしれない状況に直面しましたが、私は関係者に「絶対にやろう」と言い続けました。関係者が同じベクトルでいかないと、こうした事業はうまく進みません。途中で施設計画を見直すなどしたことで、この事業は頓挫することなく現在に至っています。数年前、権利者全員の合意により権利変換の認可を得られたときは、本当にうれしくて涙が出そうでした。

河村 学生にアドバイスをするとしたら、仕事は甘くない、です。甘く考えて入社したら、いずれ辞めちゃうことになると思います。自分の夢に向かってほしい。必ずしも思い通りにはいかないかもしれないけれど、あきらめずに突き進んでほしい。途中であきらめたら何も残りません。これをせむ極めてほしいと考えます。必ず日は昇ります（笑）。

河村 学生にアドバイスをするとしたら、仕事は甘くない、です。甘く考えて入社したら、いずれ辞めちゃうことになると思います。自分の夢に向かってほしい。必ずしも思い通りにはいかないかもしれないけれど、あきらめずに突き進んでほしい。途中であきらめたら何も残りません。これをせむ極めてほしいと考えます。必ず日は昇ります（笑）。